

令和2年度生野区の取組み 中間振り返り (全 編)

令和2年度生野区区政会議
第1回全体会



令和2年11月20日(金)



目 次

・ 生野区将来ビジョン 2018-2021	5
くらしの安全・安心部会関連	
・ 安全・安心を身近に感じて暮らせるまち への課題	6
・ 令和2年度 主な取組 (安全・安心)	7
・ (1-1) 地域自主防災力の強化	8
・ (1-2) 災害発生時の的確な対応	10
・ (1-3) 空き家等や老朽住宅への対策	12
・ (2-1) 犯罪の防止	16
・ (2-2) 事故の防止	18
・ (3-1) すべての世代の健康づくり	20
・ (3-2) 身近な見守り・支えあい	23
・ (3-3) 「地域包括ケアシステム」の構築・推進	26
・ (4-1) 真に支援が必要な方への確実な対応	30
・ (4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援	34
・ (5-1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり	38
・ (5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進	40

目 次

こどもの未来部会関連

- ・子育てにやさしく教育につよいまち への課題 42
- ・令和2年度 主な取組 (こども未来) 43
- ・(1-1) 子育てが楽しくなるまちづくり 44
- ・(2-1) 次世代の学校づくり(学校配置の見直し) 46
- ・(2-2) 次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現) 49
- ・(2-3) 次世代の学校づくり(学校・教育コミュニティ支援) 55
- ・(2-4) まちの教育力を上げる 56
- ・(2-5) 学校跡地を核としたまちの活性化 58

まちの未来部会関連

- ・いどり豊かな魅力のあるまち への課題 60
- ・令和2年度 主な取組 (まち未来) 61
- ・(1-1) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援 62
- ・(1-2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり 64
- ・(2-1) 「生野の魅力」の発掘・浸透 66

目 次

まちの未来部会関連（つづき）

- | | |
|-------------------------------|----|
| ・（２－２）区民のわがまち意識を育てる | 70 |
| ・（３－１）地域活動協議会（まち協）の支援について | 72 |
| ・（３－２）地域活動協議会（まち協）の自律運営促進について | 74 |

生野区将来ビジョン 2018-2021

誰にも「居場所」と「持ち場」があり

「持ち場」が「つながって」いくまち をめざして

未来志向のまちづくり

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち

しっかりしたセーフティネットのもと、ひとりも取りこぼされることなく、みんながお互いに思いやり支えあい助けあえるまち

子育てにやさしく教育につよいまち

安心して子育てができる環境のもと、未来あるこどもがたちがいきいきと学び成長していくまち

いろどり豊かな魅力のあるまち

たくさんの方が訪れ、住んで、住み続けたいと思えるような、いろんな世代にとって住みやすく多彩な魅力のあるまち

安全・安心を身近に感じて暮らせるまちへの課題

～ 「平成2年度 生野区運営方針」より一部抜粋

防災・防犯

- 災害時に機能する**自主防災体制を強化**するための支援が必要。
- 土地建物所有者による**自主建替**に向けた地域主体の取組への支援が必要。
- **空家の所有者へ適正管理**を求めるとともに、空家発生防止の周知が必要。
- **街頭犯罪の抑止**に向けた取組を地域住民と連携して進めるとともに、地域防犯の人的基盤を補完するために防犯カメラ等の活用が必要。
- **特殊詐欺**にあいやすい高齢者への周知・啓発が必要。
- 警察と連携し、**自転車の安全で適正な利用**の周知・啓発が必要。

福祉・人権・多文化

- 各種**健(検)診の重要性**の啓発とともに、健康への関心を高める周知が必要。
- **真に支援が必要な人々**に対して**確実に支援が届く**仕組みづくりが必要。
- 公的な福祉サービスだけでは解決できない地域の多様な課題に対して、地域の**担い手の育成やネットワークづくり**等、持続可能な仕組みが必要。
- 各種**人権課題**への理解を深め、偏見や差別をなくす取組が必要。
- 在日韓国・朝鮮人をはじめ、近年増加するニューカマーを含めた**すべての外国籍住民への必要な情報提供、多文化への理解・啓発の推進やコミュニティづくり**への支援が必要。

令和2年度
主な取組

災害に備えて

地域自主防災力の強化・災害発生時の的確な対応・空家等や老朽住宅への対策

犯罪・事故の防止に向けて

犯罪の防止・事故の防止

ずっと安心して暮らせる環境づくり

すべての世代の健康づくり

身近な見守り・支えあい

「地域包括ケアシステム」の構築・推進

持続可能な地域公共交通の検討

ひとりもとりこぼさない支援を

真に支援が必要な方への確実な対応

貧困の連鎖を断ち切るための支援 ～貧困の連鎖をくいとめるために～

すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり

外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

(1-1) 地域自主防災力の強化

◆取組の進捗状況

区予算額 3,473千円

安全・安心

地域住民の日頃から、減災に向けた**地域自主防災活動の支援**のための取組を実施

- ・ 地域防災訓練の支援 2地域(10月末時点)
- ・ 地域防災マップ作成支援 1地域 (年度末見込み)
- ・ 地域防災リーダー研修会 1回 (10月末時点)
- ・ 多言語Web版防災・水害ハザードマップ (随時更新)
- ・ 防災の基本である自助 (家具転倒防止対策等) の啓発 (通年)
- ・ 災害発生時における応急生活物資の供給に関する協力事業所との協定締結 1件
- ・ 新型コロナ禍における災害時の避難 (分散避難等) についての周知



地域防災訓練の様子



地域防災リーダー研修会

(1-1) 地域自主防災力の強化

【業績目標】

- ・地域住民が、減災に向けた自助・共助の防災対策の必要を感じ、日頃からの取組み活動が重要と感じている割合が90%以上*

◆課題など

- ・災害時に機能する**自主防災組織体制を強化するための支援**が必要
- ・さまざまな環境で生活している地域住民の為に、個々の状況に応じた安全対策が必要であり、特に**要支援者（高齢者、障がい者等）に対する防災体制をより一層充実させる**必要がある。
- ・新型コロナ禍における災害時の避難（分散避難等）

【今後の方向性】

災害発生時、各小学校区など、地域において開設される地域災害対策本部の中心として、地域住民が主体的に安否確認や初期消火など「共助」による防災活動が展開される仕組みを地域の皆さんとともに構築してきた。今後は課題の認識を踏まえ、高齢者や障がい者などの**要支援者の安全での確、かつ速やかな避難への支援**をはじめ円滑な避難支援の構築に取り組む。新型コロナ禍における災害時の避難（分散避難等）について住民周知。

(1-2) 災害発生時の的確な対応

◆取組の進捗状況

区予算額 974千円

安全・安心

区内関係機関および地域との**連携強化**のための取組を実施

- ・ 防災勉強会：41回（10月末時点）
- ・ 災害時避難所・福祉避難所への**資器材等の配備の充実**：通年
- ・ 生野区**全職員災害対応訓練**（1月23日実施予定）
- ・ 災害時避難所や関係機関との**通信網の整備**：通年
- ・ 区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会との**災害時医療救護体制の整備に向けた関係機関会議開催**：通年
- ・ 行政機関の連携による災害時想定訓練：1回（12月10日実施予定）
- ・ 災害時協力事業所登録団体 17件 [10月末現在]
- ・ 新型コロナウイルス感染対策の避難所運営マニュアルの整備



コロナ禍における避難所運営

(1-2) 災害発生時の的確な対応

【業績目標】

防災訓練実施後、アンケートで「自分の役割が理解できた」と回答した区職員の割合：90%以上*

◆課題など

- ・災害時に必要な情報提供や情報収集が行えなかった。
- ・**避難所開設のタイミング**や**避難所開設情報をスムーズに広く区民伝達**できる方法を検討。
- ・新型コロナウイルス禍に災害時の避難方法

【今後の方向性】

- ・災害時における**効果的な情報発信方法及び情報の多言語化**
- ・避難所や関係機関との**通信網の整備**
- ・災害時避難所・福祉避難所への**資器材等の配備の充実**
- ・区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会との**災害時医療救護体制の整備**

(1-3) 空き家等や老朽住宅への対策

◆取組の進捗状況

区予算額 436千円

大阪市空き家等対策計画に基づき、区民からの相談に対応するとともに、空き家所有者等への適切な維持管理や相続等による**権利関係の重要性を周知**することにより、特定空き家等の是正に努める。

- ・ 建替えのアイデア集「建替えのすゝめ」の区HP等での周知（通年）
- ・ 区民から特定空き家等の通報を受け付けて得られた**空き家情報のデータベース化**、所管局と情報共有・連携対応（随時）
- ・ 各専門家団体や住まい情報センター、大阪の住まい活性化フォーラムの相談窓口一覧や各種制度の案内チラシの配架（通年）
- ・ 不動産関係団体実施の空き家相談等の周知チラシの町会回覧
- ・ 特定空き家等に関する通報等に対する受付、現地確認、所有者調査や助言・指導等の実施（随時）

(令和2年10月末時点)

通報件数 52件 是正件数 34件

(1-3) 空き家等や老朽住宅への対策

【業績目標】

- ・ 周辺の特定期空家等に不安を感じている区民の割合：8%以下*
- ・ 特定期空家等の解体や補修等による是正件数：20件以上

◆課題など

- ・ 区内には戦災を免れた地域が多く、長屋建ての家屋が多く残っている。また、住民の高齢化や、土地建物の権利関係が複雑なことから、**所有者による自主的な建替が十分に進んでおらず**、老朽危険家屋や特定期空家等の増加に繋がっていると考えられる。
- ・ 土地建物所有者による自主的な建替が進むよう、地域が主体となった課題解決に向けた取り組みを支援していく必要がある。
- ・ 空家の所有者へ適正管理を求めるとともに、空家が発生しないよう**権利関係の重要性などについて空家所有者に周知**する必要がある。

(1-3) 空き家等や老朽住宅への対策

【今後の方向性】

昨今、台風の影響等で通報件数が増えているが、今年度も着実に対策を進めていく。

年度	通報件数	是正件数
令和元年度	41件	51件
令和2年度(10月末時点)	52件	34件



<セミナー>



<建替えのすゝめ>

(2-1) 犯罪の防止

◆取組の進捗状況

区予算額 7,372千円

街頭犯罪防止への取組みを進めるとともに、特殊詐欺被害にあいやすい高齢者への周知・啓発等の取組みを実施。

- ①地域安全防犯カメラ設置事業 30箇所（3月までに設置予定）
- ②地域安全センター等での防犯出前講座 4回（10月末時点）

安全・安心



防犯カメラ



防犯出前講座

(2-1) 犯罪の防止

【業績目標】

- 各事業（①～③）参加者アンケート：
防犯意識が高まった割合70%以上

◆課題など

- 街頭犯罪の抑止に向けた取組を地域住民と連携して進めるとともに、地域防犯の人的基盤を補完するために防犯カメラ等の活用が必要。
- 特殊詐欺被害にあいやすい高齢者への周知・啓発が必要。

【今後の方向性】

- 防犯カメラの設置による犯罪抑止効果もあり、犯罪発生件数は減少傾向にあることから、**継続的に防犯カメラを設置**していく。
- 地域安全センター等で**特殊詐欺などの防犯出前講座の実施**。



(2-2) 事故の防止

◆取組の進捗状況

区予算額 5,354千円

安全・安心

交通事故のうち**自転車による事故が多い**地域特性を踏まえ、警察、地域団体と連携して、**自転車の安全かつ適正な利用を周知、啓発**を実施。

①警察、地域団体等と協働した街頭啓発 2回（10月末時点）

※新型コロナウイルス感染症対策の影響により春秋の全国交通安全運動に合わせた街頭啓発活動は中止

②小学校等と連携した交通安全教室の開催 12回（10月末時点）

③商店街に自転車交通マナーのぼり掲出

④大阪シティバス車内放送啓発（交通安全マナー）

⑤生野区民センターに横断幕掲出



《商店街に交通マナー掲出》



《交通安全教室》



《区民センター》

(2-2) 事故の防止

【業績目標】

- 各事業（①～③）ごとの参加者アンケートで自転車交通マナーの意識が高まった割合：満足度50%以上

◆課題など

交通事故のうち自転車による事故が多い地域特性を踏まえ、**自転車の安全かつ適正な利用を周知、啓発**していく必要がある。

【今後の方向性】

引き続き、警察、地域団体等と連携して情報発信を強化する。



(3-1) すべての世代の健康づくり

区予算額 943千円

◆取組の進捗状況

- ・生活習慣病予防、介護予防活動の推進や啓発、健診の重要性を理解するための情報や健診情報（受診日程・実施医療機関等）の提供を積極的に実施。

●生活習慣病予防、介護予防の取り組み（随時）

- ・地域における住民主体の「いきいき百歳体操」を実施
- ・地域健康講座等における血管年齢測定、高齢者体力測定などの啓発事業の実施

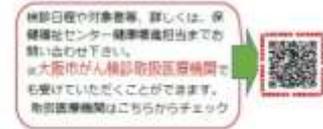


(3-1) すべての世代の健康づくり

● 各種検診の受診勧奨（主な取組）

- ・ 前年度医療機関での受診者に対し、郵送による受診勧奨（11月実施予定）
- ・ 就学関係書類送付時にがん検診受診勧奨ビラを同封し受診啓発（8月・12月）
- ・ 区内中学校の保護者へ各種検診の受診勧奨を促すクリアファイルを配付（11月予定）
- ・ 広報いくの12月号でがん検診特集記事掲載（予定）
- ・ 総合がんDayの実施（10月24日）

がん検診は毎年受けるようにしましょう！



(3-1) すべての世代の健康づくり

【業績目標】

- ・ 生野区保健福祉センターで実施するがん検診全体の充足率（受診者数／定員）65%以上

◆課題など

- ・ 普段からがん検診受診に対する意識が低い人が多く、またがんや検診に対する正しい知識を持っていない人も多い。
- ・ がん検診を受けたことがあったとしても、継続的な検診に結びついている人は少ない。

【今後の方向性】

- ・ 引き続き検診の重要性やがんの正しい知識を広く区民に情報発信していく。
- ・ 引き続き文書での個別勧奨を行い、継続的な受診につなげていく。

(3-2) 身近な見守り・支えあい

◆取組の進捗状況

(1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

区CM（福祉局）予算額 28,317千円

「見守り相談室」のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が、住民同士の見守り・支えあいを見据えた個別支援を行います。

- ①要援護者名簿登載への同意確認 165件
- ②CSWによる孤立世帯等への専門的対応
(のべ相談件数) 1,289件
- ③「認知症高齢者見守りネットワーク」による行方不明者保護の強化
見守りメール配信希望登録者 317名

(いずれも9月末時点)

(3-2) 身近な見守り・支えあい

◆取組の進捗状況

(2) 『ご近“助”パワフルサポート事業』

区予算額 14,361千円

- ・地域の福祉コーディネーターが、住民同士の支えあいを橋渡しします。

相談受付件数 2, 1 4 2 件

住民ボランティアとの連携件数 5 6 5 件
(いずれも8月末時点)

【業績目標】

福祉コーディネーターの相談受付件数
→ 前年度以上



(3-2) 身近な見守り・支えあい

◆課題など

- ・新型コロナウイルスとの共存を踏まえた見守り活動支援
- ・身近な相談窓口である、福祉コーディネーターの認知度の向上

【今後の方向性】

- ・コロナの中でもつながるための見守り活動を、地域の状況に応じて支援します。
- ・ポスター・チラシやSNSを活用して、福祉コーディネーターを身近で気軽な相談窓口としてPRします。



(3-3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備

区予算額 ー

◆取組の進捗状況

- 医療・介護の専門職による、在宅医療・介護連携を推進
(在宅支援ネットワーク会議等)
- 多職種連携による認知症に関する普及啓発や事例検証等の対応力向上
(認知症高齢者支援ネットワーク会議等※在宅支援ネットワーク会議と同時)
 - 在宅支援ネットワーク会議・認知症高齢者支援ネットワーク会議
2回開催 (7月、9月)
 - ACP(アドバンス・ケア・プラン)多職種研修
(12月15日開催予定)
 - 認知症・在宅医療シンポジウム(3月開催予定)
- 介護予防・生活支援サービス事業の充実、円滑な運用に向けた取組
 - 生活援助サービス従事者研修を生野区で開催
(1月27日、28日開講予定)



< ACP研修の様子 >

(3-3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備

- 高齢者の自立支援、重度化防止に向けた取り組み
→ 自立支援型ケアマネジメント会議
(毎月1回開催)

【業績目標】

- ・ 区内4つの地域包括支援センターの
相談延件数が区内高齢者人口の44%以上

◆ 課題など

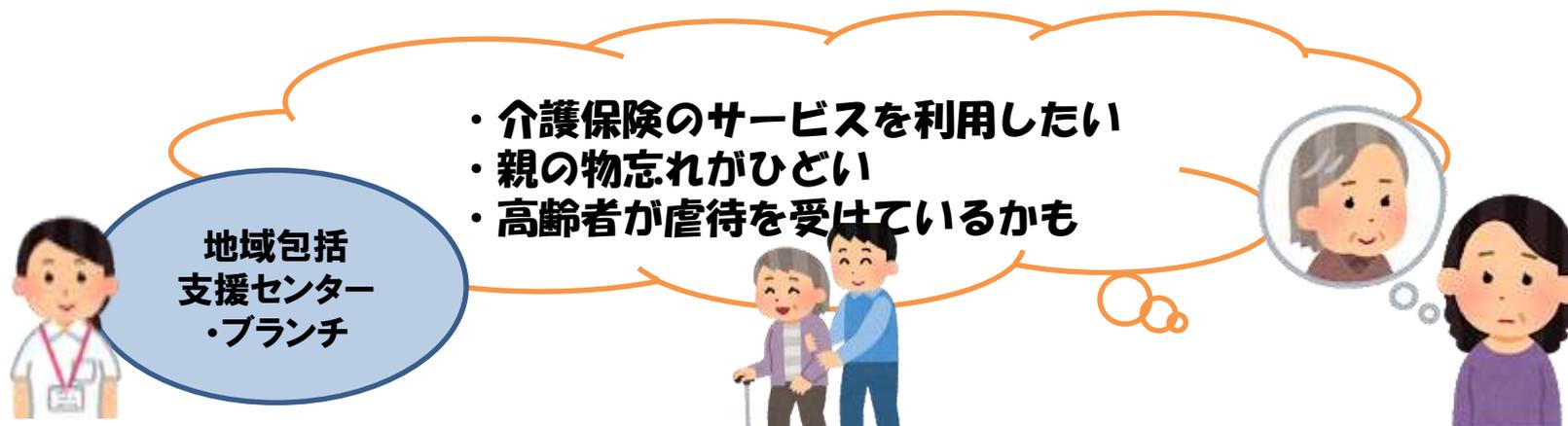
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が必要。

【今後の方向性】

介護予防・生活支援サービスや、地域包括支援センターについて市民への普及・啓発をさらに進める。



(3-3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備



こんな時は地域包括支援センター・総合相談窓口(ブランチ)へ!

●生野区地域包括支援センター

舍利寺・勝山・東桃谷・生野
西生野・林寺地域

☎ 06-6712-3103

◆生野東ブランチ ☎ 6715-2188

●東生野地域包括支援センター

東中川・小路・東小路地域

☎ 06-6758-8816

●鶴橋地域包括支援センター

御幸森・中川・北鶴橋・鶴橋地域

☎ 06-6715-0236

◆大池ブランチ ☎ 6753-6580

●巽地域包括支援センター

生野南・田島・巽・北巽・巽南・巽東地域

☎ 06-6756-7400

◆田島ブランチ ☎ 6751-1271

◆新生野ブランチ ☎ 6758-0088

◆新巽ブランチ ☎ 6752-0003

